



- 会長挨拶
- 第9回通常総会報告
- 新型コロナ関連アンケート調査
- 委員会紹介
- サイバー攻撃の手法と対策

■発行/一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp
■URL/http://www.misa.or.jp ■企画・編集/広報委員会 ■印刷/ハリウコミュニケーションズ株式会社



会長挨拶

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 石森 令一



日頃はMISAの事業運営にご支援・ご協力を頂き御礼申し上げます。

さて、今年に入って本格的に始まった新型コロナウイルス感染拡大は、いまだに終息が見えない状況が続いております。

新型コロナウイルスのパンデミック（世界的流行）により、国内だけではなく世界的にモノや人の移動が大幅に制限され、グローバル化した世界経済は大きな影響を受けております。

日本経済においても、打撃から立ち直るまでに相当の時間がかかるという見方が広がっており、東北の景況感も同様で、先行きの不透明感は強いものがあります。

MISAの会員企業の皆さまにおきましても、こうした対応には多くのご苦勞をされていることと察します。

一方、このような中において、ITは着実に進化し続けており、その役割はますます高まっております。政府はこのコロナ禍を機会に集中投資を行い、あらゆる分野でのオンライン化や地方移住へのIT活用など、官民での情報化活用の強化をさらに進めることとしております。中でも特に重要なのが、地方におけるデジタル環境の整備、体制づくりと言われております。

第9回通常総会報告

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会の第9回通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を考慮し4月22日に開催された第33回理事会の決定により書面による開催となりました。

総会は5月25日から6月12日の間で正会員各位に下記議案についての審議を書面にて依頼し、正会員数185社のうち、回答会員（145社）全員から承認の回答があり、いずれも提案通り承認されました。

その意味では、今こそ、我々IT業界が会員の団結力とチャレンジ精神で全産業のIT化促進に貢献し、地域経済の活性化につなげていく時と思われまます。

MISAのアンケート結果では、コロナウィルス感染拡大を機会に、ここ宮城でも「テレワーク」の導入が加速され新しいワークスタイルが浸透しつつあります。

そして、さらに将来を展望すれば、IT業界においてカギになるのは「AI（人工知能）」、「IoT」、「ビッグデータ」、「VR」等の先端IT技術が将来的なIT関連市場の拡大を実現する上で重要と考えられています。例えば、「AI」は自動車の自動化のみならず、無人店舗などへの活用も加速されていくともいわれております。

いずれにしても、これらを実用化させる職種はITエンジニアです。

それらに少しでも応えていくために、私ども情報サービス産業は人材の確保・育成は勿論、働き方改革を含め魅力ある産業として産業構造の変化に取り組んでいくことが重要と思われまます。

引き続き会員皆様のご支援・ご協力よろしくお願いたします。

（決議事項）

- 第1号議案 令和元年度事業実績について
- 第2号議案 同 収支決算及び会計監査結果について
- 第3号議案 同 役員を選任について

（報告事項）

- 第4号議案 第8次中期事業計画について
- 第5号議案 令和2年度事業計画について
- 第6号議案 同 収支予算について

令和2年度 MISA 新役員名簿

（各五十音順、敬称略）

役員	氏名	所属・役職	役員	氏名	所属・役職
会長 (代表理事)	石森 令一	東北インフォメーション・システムズ株式会社 取締役社長	理事	佐藤 麻美	株式会社 Minori ソリューションズ 執行役員
副会長	阿部 嘉男	株式会社 SRA 東北 代表取締役社長	//	鈴木 利信	株式会社アテネコンピュータシステム 代表取締役社長
//	小原 正孝	テクノ・マインド株式会社 代表取締役社長	//	新 高橋 貴紀	株式会社アルファビジョン 代表取締役
常務理事	穴沢 芳郎	一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 事務局長	//	田代 紀生	システムニール株式会社 参与
理事	伊藤 正則	株式会社エスクルー 代表取締役社長	//	新 伴 慎矢	東北 NS ソリューションズ株式会社 代表取締役社長
//	新 遠藤 守也	公益財団法人仙台市産業振興事業団 副理事長	監事	小林 貴之	株式会社ラネックス 代表取締役社長
//	菅野 直	バイスリープロジェクト株式会社 代表取締役社長	//	菅原文彦	株式会社システムロード 代表取締役
//	佐々木 卓也	株式会社トレック 代表取締役			

東北電力グループ

私たちが TOiNX (トイックス) は、
ITで実現する新たな価値を
地域社会に届け続けます。
ともに手をとりあい、
どんな時も誰よりも近くで、
しっかり支え、キツチリ守ります。
さらに、一歩踏み込んだ提案をし、
期待をこえる感動を届けます。

ITで、
感動を、
ともに。

トイックス

東北インフォメーション・システムズ株式会社

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目9番10号 セントレ東北
TEL 022-799-5555 FAX 022-799-5561

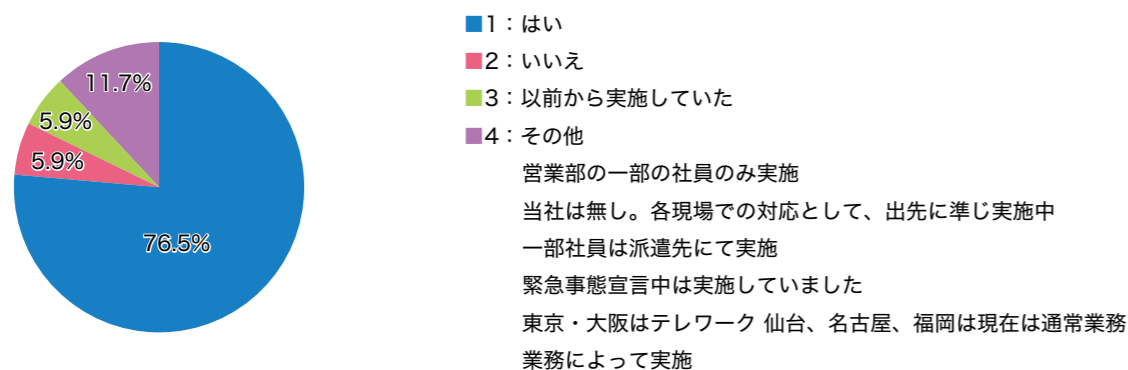
新型コロナウイルス感染症防止対策情報関連ページ

新型コロナウイルスの影響に関するアンケートについて

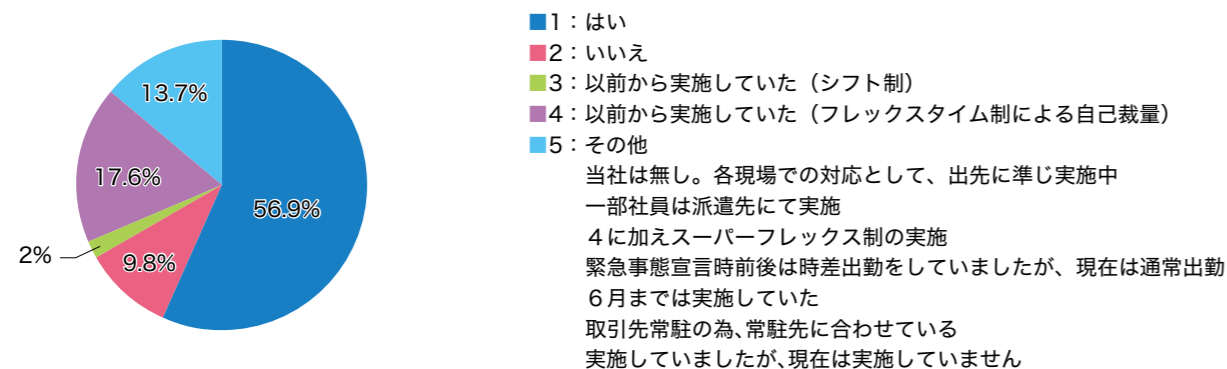
新型コロナウイルスの影響について、会員の皆さまの現状を把握し、今後のMISA事業の展開に資するため、本年8月にアンケート調査を実施しましたので、その調査結果の一部概要を掲載します。

なお、詳細は、右ページのQRコードを読み取りご参照ください。ご協力ありがとうございました。

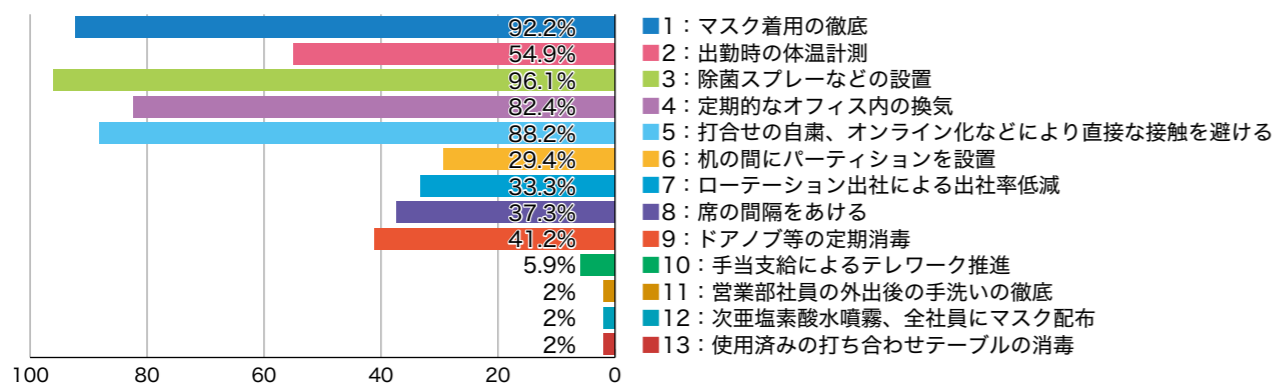
質問1 新型コロナウイルス感染症への対応として、テレワークを実施していますか。(必須)



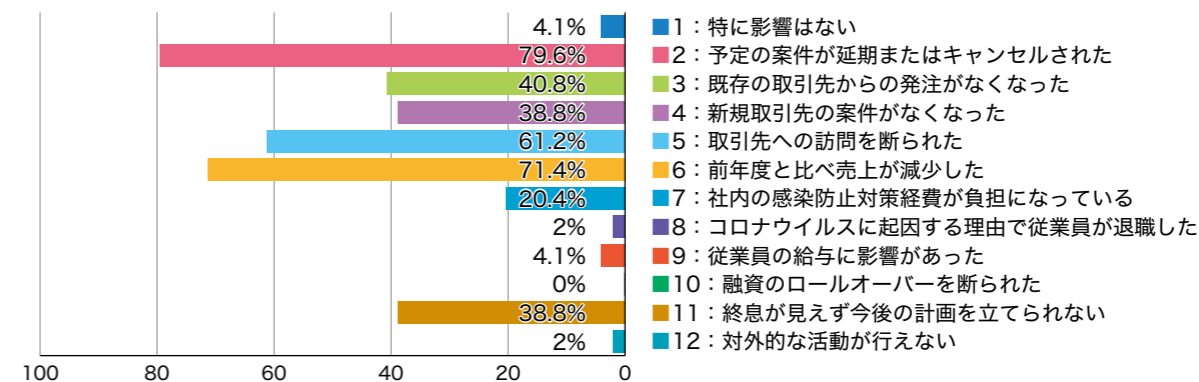
質問2 新型コロナウイルス対策として時差出勤を実施していますか。(必須)



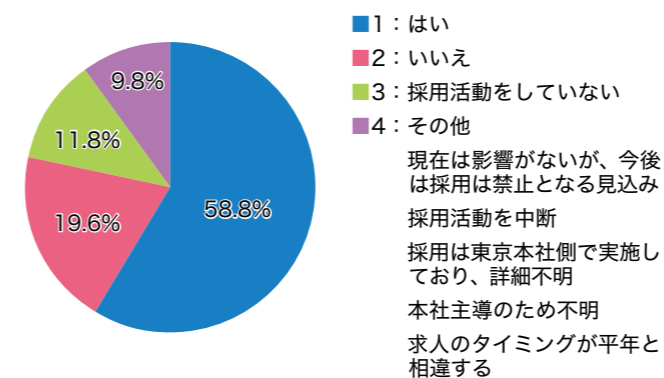
質問3 社内においてどのような感染予防対策を行っていますか。(任意、複数選択可)



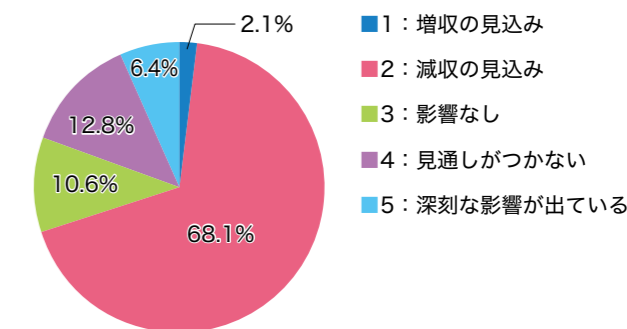
質問4 営業・経営にどのような影響が出ていますか。(任意、複数選択可)



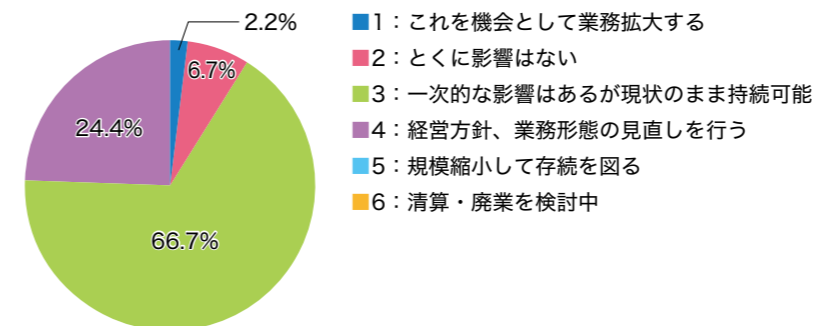
質問5 採用活動に影響が出ていますか。(必須)



質問8 経営の現況はいかがでしょう。(任意)



質問9 今後の展望をどのようにお考えでしょうか。(任意)



その他の詳しいアンケート結果はこちら



MISAホームページからもご案内しています。
URL: <http://www.misa.or.jp>

総論

昨年末から世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症は未だに終息に至っていない。このような中、特に企業には、移動や通勤、会議やイベント、対面による打合せ・会議等当たり前に行われていた活動の自粛が求められ、新たな行動様式への変革が急務となっていることから、MISA会員企業の実態について今回アンケート調査を実施した。

結果の中で特徴的なのはコロナウイルス感染拡大を機に急速にテレワークや時差出勤、オンライン採用面接等が導入されており、企業活動の新たな変化が伺える。ただ、コミュニケーション、セキュリティ、勤怠管理等の課題もあり、それらへの対策を考慮しなければならない。

また、経営環境に対しては、8割強が「減収」、「見通しが見えない」と回答しており、行政などへの現状アピールの参考としたい。アンケートにご協力いただきました会員企業各位に対し改めて御礼申し上げます。

事務局長 穴沢 芳郎

いつもはMISAのイベント紹介・報告記事を掲載していますが、新型コロナウイルスの影響により中止、延期が相次いでいます。その為、今回は各委員会の普段の活動内容をご紹介します。

委員会紹介

経営委員会 委員会活動

経営委員会

1. 委員会開催

隔月1回 16:30～
(変動することもあり)

2. 協会運営関連

- 通常総会・記念講演会・交流会（6月）開催
- 賀詞交歓会・新春講演会・交流会（1月）開催

会員企業220社が一同に会し、会員間の情報交換や交流のできるイベントとなっています。



3. 経営者層情報交換・交流

■ 親睦ゴルフ大会

年2回（4月・10月）開催しています。
毎回50名程度の参加者で、日ごろの腕前を競い合い、会員間の親睦を深めるイベントです。



■ MISA交流サロン

年4回開催。会員企業・協会顧問・参与や功労者の参加を仰ぎ情報交換の場とする。

■ Misaliy女性交流会

年2回開催。MISA会員企業に所属している女性の方を対象としたスキルアップの場、女性同士の情報交換の場とする。



4. 経営者層研鑽・経営強化

■ 法的問題セミナー

IT化の進展に伴って制定される法律・制度等について時宜を得たテーマを設定し、経営に及ぼす影響、対処法を学ぶセミナーを開催しています。

■ 経営強化セミナー

経営者や経営幹部を対象としたセミナー（研修）を開催しています。

5. 経営問題調査研究

隔年実施。

MISA会員企業現状調査を実施し、検討会を設け分析・検討を行う。

<経営委員会へのお問い合わせ>

経営委員会 委員長：(株) エスクルー 伊藤 正則 (mass@s-crew.jp.com)

委員会紹介

福利厚生委員会 委員会活動

福利厚生委員会

1. 委員会開催

月1回（第3月曜日）18:00～
(変動することもあり)

2. スポーツイベント開催

■ MISA会長杯フットサル大会（Misaリーグ）

年2回（6月&11月）にフットサル大会を開催しています。

全24チームが3つのカテゴリーに分かれ、MISA会長杯及び、昇格・降格をかけ争います。

1チーム5名～15名で構成されますが、チームメンバーが集まらない企業はチームMISAを結成し混成チームで戦ったり、女性のゴール及び、男性50歳以上のゴールを2点！とするなど、MISA会員企業全従業員が参加できるような取り組みを行っています。



3. 同好会活動

■ 船釣り大会

年3回（6月カレイ、9月ジギング、12月ナメタ）塩釜漁港から大型漁礁などを舞台に釣り大会を開催しています。
50cmオーバーの大物を釣り上げるなど盛り上がり、見事大物を釣り上げた参加者には、豪華景品が贈られます。



■ マラソン・トレイルランニング同好会

ダイエット、ストレス発散、健康作りなどそれぞれの理由でジョギングを始めた、マラソンやトレイルランニング大会に参加される人も多くなりました。
仲間と一緒にならもっと楽しい！
福利厚生委員会では、仲間と共にストレスレスで健康な生活の推進をテーマに「マラソン・トレイルランニング同好会」を立ち上げました。



4. 福利厚生事業

■ メンタルヘルスセミナー

メンタル不調を生まない為のセルフケアなどをテーマに年1回セミナーを開催。
また、新入社員研修の1部時間を借りて新入社員向けのメンタルヘルスセミナーを開催しています。

■ 福利厚生事業の広報

PET検診、福利厚生倶楽部、集団扱損害保険の紹介などMISAホームページ（福利厚生委員会）で紹介を行っています。

5. その他

多くの会員が参加できるレクリエーションイベント等の新企画検討中！

<福利厚生委員会へのお問い合わせ>

福利厚生委員会 委員長：(株) 東北システムズ・サポート 山内 祐治 (yama@tss21.co.jp)

委員会紹介

人財委員会 育成グループ活動

人財委員会

1. 委員会開催

月1回（第3木曜日）16:15～
（変動することもあり）

2. 事業内容

「宮城県のITエンジニアの市場価値を変える」ことをミッションに、MISA会員企業の技術力・競争力を高めるための研修の企画・運営などの事業を運営します。

■ 新入社員研修

新入社員研修のカリキュラムは、システム開発の基礎を体系的に学ぶ「システム開発技術者育成コース」を軸に置いていますが、働く姿勢・ビジネスマナーやコミュニケーションなどの人間力を高める「ビジネス基盤養成コース」との二本立てです。技術力と人間力を両軸に育成するのが特長です。本研修は、宮城県の認定職業訓練です。「人材開発支援助成金」が活用できます。



■ ステップアップ研修

新入社員の入社後の定期的な研修によってプログラム開発のスキルアップを図ります。職場では偏ってしまいがちな知識を本研修によって体系的に補います。

■ 中堅社員研修

将来を担うリーダー育成に重点をおき、ヒューマンスキルを中心に組織マネジメント、プロジェクトマネジメント、経営知識など幅広い分野の知識を習得した人材を養成します。

■ 次世代研修会

ワークショップスタイルでイノベティブなビジネスマインド人材を養成します。過去には「デザイン思考」「ニーズを的確にとらえるためのワークショップ」「みやぎ経済を盛り上げるインバウンドビジネスを考えるワークショップ」など発想力を鍛えるワークショップを開催しました。また、職場だけでは得られない新たなネットワーク・人脈形成を図る機会を得られます。

3. 今後の事業展開

AI × データ時代に向けた人材の教育を進める必要があります。例えば数理・データサイエンスの素養を身に付けられる教育を地元教育機関等と連携して実現していくことです。

<人財委員会 育成グループへのお問い合わせ>

人財委員会 委員長：(株)SRA東北 岡田 晃男 (okada@sra-tohok.co.jp)

委員会紹介

人財委員会 確保グループ活動

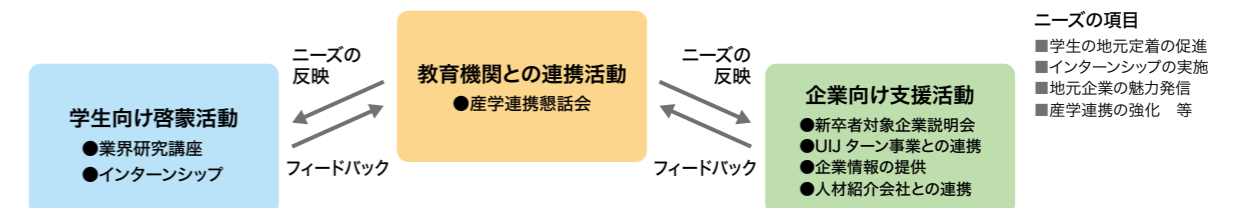
人財委員会

1. 委員会開催

月1回（第3木曜日）15:00～16:00

テーマはMISA会員企業へのITエンジニアの採用サポート
「教育機関との連携活動」「学生向け啓蒙活動」「企業向け支援活動」の3つが軸

委員会活動に参加することで自社の採用力も向上



2. 事業内容

■ 産学連携懇話会

教育機関の職員との情報交換の場を設け取り組むべき課題（ニーズ）の発見
[2019年度 実施6回]

「大学の就職担当教授、教官との連携会議」「大学の就職担当者との連携会議」「専門学校の就職担当者との連携会議」の3つを開催

■ 業界研究講座

教育機関や自治体向け出前形式の業界研究講座の実施
[2019年度 実施8回 参加学生353名]

■ インターンシップ

MISA独自のカリキュラムによる産学の現状にマッチしたインターンシップの実施
[2019年度 実施8回 参加企業9社 参加学生30名 成果報告会実施]

■ 新卒者対象企業説明会

新卒者を対象とした合同企業説明会の実施
[2019年度 実施3回 参加企業39社（延べ） 参加学生71名]

■ UIJターン事業との連携

自治体等の外部組織のUIJターン事業に出展
[2019年度 実施2回 相談件数17名]

■ 企業情報の提供

就職情報ウェブサイトを運営しMISA会員企業の魅力を発信
[2019年度 インタビュー・コラム6件 採用情報35社]

伊達なICT-WORK せんだい・みやぎ
学生・転職者向け <https://date.ict.miyagi.jp/>
企業・教育機関向け <https://info.ict.miyagi.jp/>



■ 人材紹介会社との連携

MISA会員企業と個別の人材（学生・転職者）の出会いの場の創出
[2019年度 紹介人数18名 内定承諾10名]

<人財委員会 確保グループへのお問い合わせ>

人財委員会 副委員長：(株)ナナイロ 中嶋 竜大 (nakajima_tatsuhiro@nanairo-inc.jp)

委員会紹介

事業共創委員会 委員会活動

事業共創
委員会

1. 委員会開催

隔月1回のペースで開催（当面、オンライン開催）

2. アイデアソンイベント開催

ITを活用した新たな価値の創造、他業種との課題共有と人材交流・創発をねらいとしてアイデアソンイベントを開催しております。

これまでの実績は以下の通りであり

- 第1回：「スポーツ×IT×地域」アイデアソン（2018年11月17日開催）
- 第2回：「お酒×IT×地域」アイデアソン（2020年2月22日開催）

第2回では、秋保ワイナリー（株）仙台秋保醸造所、「浦霞」醸造元の（株）佐浦の関係者にご参加いただき、地域密着への取組や今後の課題などを共有した上で、参加者がグループに分かれ、さまざまなアイデアを出し合い、新たな価値の創出に取り組みました。

ファシリテータのリードで異業種や年齢層も異なる初対面のメンバーもすぐに打ち解け、ユニークな発想や意見が飛び交い、各チームとも非常に活発な議論が行われました。最後のチーム別プレゼンでは、寸劇での発表チームもあり、多様な視点から課題への解決案が発表され、とても充実した時間となりました。



3. ハッカソンイベント

- デジタル政府推進、カーナビ標準規格など業界内外の団体と連携し、ハッカソンイベント開催を企画検討しています。イベント実施が決まりましたらご案内いたしますので、技術者の社外ネットワークづくりや、新たな事業分野への機会づくりに、ぜひご参加ください。

4. 異業種連携・協力

- 農業法人との連携
宮城県農業法人協会通常総会にて当委員会より情報提供。また、各委員会へのICTセミナーの主催等。
- 産学連携
ヘルステック、防災テック、農山漁村拡大プラットフォーム、次世代放射光施設、保育施設におけるICT等利活用などに参加。

5. その他

同業他団体も含め、異業種交流の拡大を目指してテーマを検討中です。
ぜひ、事業共創委員会メンバーとしてご参加ください。

<事業共創委員会へのお問い合わせ>

事業共創委員会 委員長：（株）トレック 柴崎 健一（shibasaki@trek.co.jp）

委員会紹介

グローバルビジネス委員会 委員会活動

グローバル
ビジネス
委員会

1. 委員会開催

月1回（第1火曜日）17:00～
（変動することもあり）

2. 留学生・国際人材交流事業

仙台名物の芋煮を楽しみながら、地元企業と地元の大学、専門学校らの学生との交流を深める「芋煮ケーション」の開催や、県内学校への訪問・授業参観など、今後の情報サービス業界のグローバル化により求められる幅広い国際人材との交流、マッチングの機会を創出しています。



3. ICTカンファレンス

情報サービス業、ICT産業に関わる時代のトップランナーを講師に迎え、MISA会員のみならず、他業種企業・学生のみなさまなど一般の方向けにも業界の最新事例への理解を深めてもらうことを企図したセミナー「ICTカンファレンス」を年に一回開催しています。



4. その他各国渉外活動

米国、フィリピン、シンガポール、香港、台湾などの国と地域との積極的な情報交換、イベント参加や、当地の情報サービス業団体との交流に活発に参加をしております。海外進出にご興味の方はお気軽に、当委員会までお声がけください！

<グローバルビジネス委員会へのお問い合わせ>

グローバルビジネス委員会 委員長：（株）Sola.com 高橋 洋人（info@solanets.com）

委員会紹介

ビジネス推進委員会 委員会活動

ビジネス推進
委員会

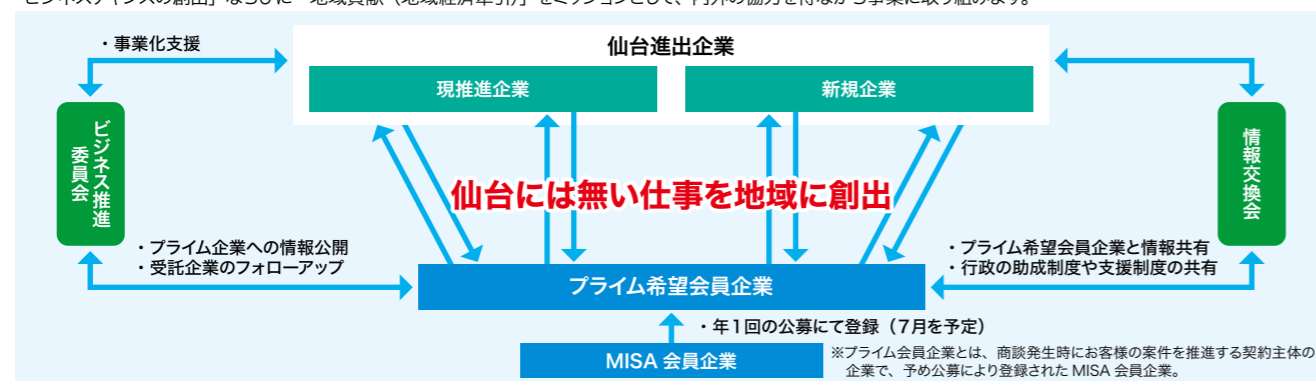
1. 委員会開催

隔月1回のペースで開催
(変動することもあり)

2. 地域ビジネス創出

ご相談をいただいた仙台進出企業様に対してビジネス推進委員会が受け皿となり、ご相談・ご対応を行政と連携を行いながら進出計画の段階からサポートしています。又、計画実施段階では、仙台進出企業様とプライム企業（商談発生時にお客様案件を推進する契約主体のMISA会員企業）・パートナー企業（MISA会員企業）を公募方式により結び、事業化を支援します。事業化後のご相談も含めて、ICT産業の団体として組織立った対応を行っております。

「ビジネスチャンスの創出」ならびに「地域貢献（地域経済牽引）」をミッションとして、内外の協力を得ながら事業に取り組みます。



MISA ブランドの確率

MISA会員企業による協業をビジネス推進委員会が支援することにより、仙台進出企業の事業化支援によるビジネスチャンスの創出、安定した受注確保に伴う地域貢献（地域経済牽引）を目指す。

3. 情報交換会開催

団体主導の新規ビジネスに関して、新規で仙台に進出を予定されております企業情報のご提供と、現在進行中のプライム案件の状況共有など、プライムを希望する会員企業様との情報連携を行う機会を提供しています。また、行政が行っている企業立地に関する助成制度や支援制度など様々な情報をご紹介します場といたします。



4. その他

テレワークの導入、リモート会議など、ビジネスを推進するための方法が変化し、注目されている状況を踏まえ、ビジネス推進方法や働き方をテーマに検討してまいります。

<ビジネス推進委員会へのお問い合わせ>

ビジネス推進委員会 委員長：(株) Minoriソリューションズ 宮野 滋貴 (s-miyano@minori-sol.jp)

委員会紹介

広報委員会 委員会活動

広報委員会

1. 委員会開催

隔月1回（第3金曜日）16:00～
(変動することもあり)

2. 機関誌発行

■ MISA 情報誌発行

MISA主催イベントのお知らせや活動報告、会員企業への有益な情報を発信する情報誌を年2回（4月/10月）刊行しています。発行部数は600部。関係官庁や教育機関等にも配布しています。会員企業のサービス・新技術情報紹介コーナーもありますので、企業PRにご活用頂けます。また、フォトコンテストやITあるある川柳など誰でも参加できるコーナーもありますのでお気軽にご参加ください（受賞者には商品券等をプレゼント）。広告スポンサー企業も随時募集しています。



3. Webサイト・SNS運営

■ 宮城県ICT企業データベースによる情報発信

「宮城県ICT企業データベース（URL: <http://www.misadb.jp/>）」のサイト運営保守およびアクセス数向上や各企業ページの記載項目充足に向けての施策を実施しています。

本サイトはGoogle検索エンジンでの「企業DB」「IT企業」のキーワードで常に上位3位以内をキープしており、今年7月のアクセス数13,499件となっています。

本サイトを經由して新規案件獲得に繋がった、との声も頂いていますので、この機会に是非ページの内容を見直してはいかがでしょうか。



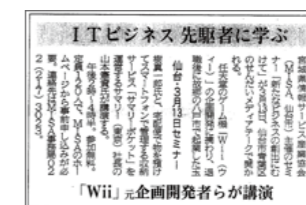
■ ホームページ & Facebookによる情報発信

MISAホームページのサイト運営保守およびアクセス数向上施策を実施しています。また現在、ホームページリニューアルプロジェクトを発足しています。新しいMISAホームページにご期待ください！MISA Facebookページ（URL: <https://www.facebook.com/miyagi.misa/>）のリーチ・いいね！獲得数向上施策を実施しています。今年8月時点のいいね！獲得数は6,628件と高評価を頂いています。

4. ニュースリリース

■ メディアへの情報発信

各委員会が開催するイベントのプレスリリース代行を実施しています。河北新報に昨年2月に開催した「ICT CONFERENCE 2019」の集客記事と本番当日の取材記事を掲載頂きました。



5. その他

今後も多くの会員様へ有益な情報を発信していきます！

<広報委員会へのお問い合わせ>

広報委員会 委員長：(株) イッツ・コーポレーション 日向 勇輝 (y_hinata@its-cp.jp)

事務局からのお知らせ

サイバー攻撃の手法と対策

サイバー攻撃の手法は、攻撃の目的によって異なり、日々進化・高度化しています。最新の脅威や攻撃の手口をよく知り、対策をとることが重要です。

● 標的型攻撃

手法

特定の組織・個人に狙いを定め、悪意のある添付ファイル・URLを送り付けて当該組織等で使用されている端末等をマルウェアに感染させるなどして、遠隔操作や情報窃取等を行います。



事例：日本年金機構における個人情報流出事案（2015年）は、同機構に対し、100通以上もの標的型メールが送信され、「Emdivi」（エムディビィ）と呼ばれるマルウェアが一部の端末に感染したことによって引き起こされたものとされている。

対策

不審なメールの添付ファイルを開封しない、リンクをクリックしないなどして攻撃を防ぐことが重要です。また、標的型メールは、不信感を抱かれないよう、普段からやり取りしている組織・人物を装うなど、標的ごとに巧妙に作りこまれている例も確認されていることから、マルウェアの感染等を想定し、ログを日常的に取得して異常な通信の早期発見に備える等、被害を最小限に抑えるための対策を行うことが重要です。

● DDoS攻撃

手法

複数のコンピュータから、標的のサービスに悪意をもって大量の処理要求を送り付けるなどして、サービスの提供を妨害したり停止させたりします。



事例：DNSサーバを管理する米国Dyn社のDNSインフラストラクチャーがDDoS攻撃を受け、同社顧客のウェブサイトがアクセスできない状態となりました（2016年）。この攻撃では、「Mirai」と呼ばれるマルウェアに感染した多数のIoT機器が利用されたと指摘されている。

対策

インターネット向けサービスでは、DDoS攻撃の影響を完全に排除することは困難ですが、オーバースペックなサーバや回線を備えたり、攻撃を行う恐れのある国やドメインからの通信を拒否したりすることで攻撃の影響を緩和することが出来ます。また、攻撃者にDDoS攻撃ツールを仕込まれ、気付かずにDDoS攻撃に加担してしまうことのないよう、コンピュータの脆弱性を修正しておくなどの注意が必要です。

● ランサムウェア攻撃

手法

コンピュータをランサムウェアに感染させてその内部のファイルを暗号化・利用不能にした上で、被害者に対し、元に戻す見返りに「身代金」を要求します。



事例：ランサムウェア「WannaCry」によるサイバー攻撃（2017年）では、ランサムウェアに感染した端末のデータを回復する条件として犯人側は金銭を要求していましたが、米政府の発表（同年5月）によると、支払によってデータが回復した例は把握されていない。

対策

OSやソフトウェアをアップデートせずに古いまま放置していると、セキュリティ上の問題点が修正されず、それを悪用したマルウェアに感染してしまう恐れがあります。OSやソフトウェアは、最新版を使用したり、修正プログラムを適用したりすることが、ランサムウェアの感染防止に有効です。また、感染してしまった場合にいち早く復旧させるためには、定期的にシステムやデータのバックアップを行うておくことが不可欠です。

● 不正ログイン

手法

IDやパスワードを解明し、相手の機器を乗っ取るため、ウェブサービスなどから流出したパスワードのリストなどを使う「リスト型攻撃」、文字の組み合わせをすべて試す「総当たり攻撃」、パスワードによく使われる文字列を試す「辞書攻撃」などの手法が使われます。



対策

パスワードの安全性を高めるため、複雑なパスワードを設定し、複数のウェブサービスでパスワードの使い回しをしないほか、パスワードを適切に管理することが重要です。また、サービスのログインの安全性を高めるためには、複数の要素を使って認証する二段階認証や多要素認証が効果的です。

● 不正アクセス

手法

テレワークの導入に伴い、VPN（仮想私設網）を利用する企業が増える中、VPNの脆弱性をつかれ、不正アクセスにより通信に必要な暗証番号が流出される事象です。



対策

利用者（社員）毎にアクセス制御を設ける、IDや暗証番号のほか、生体認証などと組み合わせる「多要素認証」の採用、VPNの認証に暗証番号とワンタイムパスワードを使用するなどが有効です。

入会のご案内

本協会の目的に賛同される方は、どなたでも入会できます

【会員の種別】

正会員	宮城県内に在住し、本協会の目的に賛同して入会した法人または団体
賛助会員	本協会の目的に賛同し、事業の推進に協力するために入会した個人、法人または団体
特別会員	本協会の目的に賛同し、事業に協力するために入会した公的機関など

【会費および入会金】

	会費（年会費）	入会金												
正会員	・ 4/1付（宮城県内事業所の）従業員規模に応じ	一律1万円												
	<table border="1"> <tr><td>・ 5名未満</td><td>2万円</td></tr> <tr><td>・ 20名未満</td><td>4万円</td></tr> <tr><td>・ 30名未満</td><td>6万円</td></tr> <tr><td>・ 50名未満</td><td>8万円</td></tr> <tr><td>・ 100名未満</td><td>12万円</td></tr> <tr><td>・ 200名未満</td><td>14万円</td></tr> <tr><td>・ 200名以上</td><td>20万円</td></tr> </table>		・ 5名未満	2万円	・ 20名未満	4万円	・ 30名未満	6万円	・ 50名未満	8万円	・ 100名未満	12万円	・ 200名未満	14万円
・ 5名未満	2万円													
・ 20名未満	4万円													
・ 30名未満	6万円													
・ 50名未満	8万円													
・ 100名未満	12万円													
・ 200名未満	14万円													
・ 200名以上	20万円													
賛助会員	一口4万円で一口以上	無料												
特別会員	無料	無料												

MISA フォトコンテスト結果報告

MISA 会報 48 号フォトコンテストに、会員企業 18 名の方より 41 作品のご応募をいただきました。MISA 事務局と広報委員会の投票による選考結果でグランプリと準グランプリが決定いたしました。グランプリ作品 1 点には商品券、準グランプリ作品 2 点と佳作 9 点には Q U O カードがそれぞれ贈呈されます。

表紙に
掲載

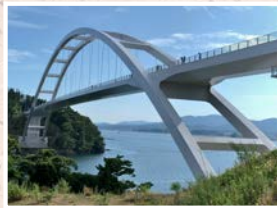
グランプリ

「朝日に燃える松島」
東北ディーシーエス（株）
岡 昭彦 様

準グランプリ

「気仙沼大橋」

(株)トレック
柴崎 健一 様



準グランプリ

「圧巻の 180 万本」

(株)ピッツ
北村 豊 様



MISAでは、ホームページ・Facebookページより情報発信を行っています。是非ご覧ください！

MISA ホームページ

ホームページURL <http://www.misa.or.jp/>

MISA Facebookページ

FacebookページURL <https://www.facebook.com/miyagi.misa>